

製品名: PAIP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87434**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:100,FC 1:10-1:100,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:54 kDa; Observed MW:54 kDa

抗原情報

遺伝子名	PAIP1
別名	PAIP-1
遺伝子 ID	10605
SwissProt ID	Q9H074
免疫原	ヒト PAIP1 の合成ペプチド

背景

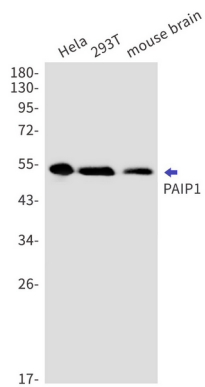
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ポリ(A)結合タンパク質およびキャップ結合複合体 eIF4A と相互作用する。翻訳開始

およびタンパク質合成に関与する。COS7 細胞におけるこの遺伝子の過剰発現は翻訳を刺激する。この遺伝子座では選択的スプライシングが起こり、3つの異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが同定されている。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



PAIP1 抗体 (1:1000 希釈) を使用した HeLa, 293T、マウス脳細胞溶解物中の PAIP1 のウェスタンブロット検出。